

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|-------------------------|--------|---------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 兵庫県丹波市教育委員会 | | | 代表者名 | 片山 則昭 |
| 担当者部署(属性) | その他 | 担当者部署名 | 教育部 社会教育・文化財課 | 連絡先電話番号 | 0795-82-7100 |
| 担当者役職 | 図書館係長 | 担当者氏名 | 高見弘子 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 669-3602 兵庫県丹波市氷上町常楽233 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | | | |
|-------|--|-----------|--|
| 団体名 | | 連絡先部署 | |
| 担当者氏名 | | 連絡先電話番号 | |
| | | 連絡先E-mail | |

1-3. 支援を求める内容

| | | | |
|----------|--|---------|---------------|
| 支援方法 | 具体的課題への支援 | 事業名(予定) | 丹波市立図書館のあり方作成 |
| 概要 | 丹波市立図書館のこの先10年のあり方策定にあたり、基調講演やワークショップ等を行い、市民の意見を反映した計画となるよう支援を必要としている。 | | |
| 支援を求める分野 | 計画策定支援 デジタルアーカイブ/図書館 | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|----------------|---------------|----------------|------------|--------------|----------|
| 2-1. 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
| | 無 | | | | |
| | 派遣日予定日(申請書より) | 支援内容(申請書より) | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) |
| | 令和6年7月21日 | 講演(実地) | 17時30分 | 19時30分 | |
| | | | 活動時間(分) | 120 | |
| 2-2. 派遣場所 | 会場名 | 丹波市立中央図書館 | 最寄駅 | 柏原駅 | |
| | 所在地 | 兵庫県丹波市氷上町常楽233 | 最寄駅からの交通手段 | バス・タクシー等 | |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|--|
| アドバイザー | 岡本 真 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | 図書館法の解説から理論的に図書館がどのような役割を持った施設であるのか説明があり、丹波市民が捉えている図書貸出を行う施設である、というイメージは図書館法が規定する役割のごく一部であることを共通理解できたこと。これからの丹波市立図書館のあり方について大きな視点から豊富なアイデアを引き出すことが出来た。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 並行して行っている市民および利用者意識調査(アンケート)の集計結果をふまえ、丹波市立図書館が今後果たすべき役割を整理し、住民がともに参画できる運営のあり方について先進事例をふまえアドバイスをいただきたい。 |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | | | |
|--|---|-------|-----------|---|
| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 | 合計人数 | 37人 | |
| | 属性 | 企業・団体 | その他(学生など) | |
| | 人数 | 13 | 24 | 0 |
| 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | | | |
| 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) | 「丹波市立図書館のあり方」計画を策定するにあたり、市民の意見を直接聴取する機会として市民ワークショップを計画したが、丹波市民が公共図書館について抱えているイメージが図書貸出等の限定的なサービスに固定されており、多様な意見を引き出せないおそれがあった。 | | | |
| 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) | 図書館のサービスや施設などについて、図書館が提供するサービスが本来的に幅広いものであることに気づき、市民から多様な意見(ニーズ)を引き出すこと。図書館のファンを増やすこと。 | | | |

| | | |
|---|--|---|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 図書館法の解説や先進館のサービス等事例の提示、市民ワークショップにおいて適宜参加者に助言を行い、意見を全員で共有した後に総括を行った。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | 図書館法に規定された図書館が果たすべき役割について理解し、本を貸し出す施設であるという、多くの丹波市民が抱いている固定概念を手放し、それぞれがどんな図書館を望むのか、自由に意見交換をすることができた。豊かなアウトプットのために、適切なインプットを実施することができた。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 「丹波市立図書館のあり方」計画の策定は途中段階であるが、市民ワークショップで多くの意見を集めることができた。 | ⑦その他 |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 図書館を中心としたどのような連携が実現できるのか、市民がどのように図書館運営に関わることができるのか、といった市民協働の視点による検討は、今回出た意見の課題整理等を行ったうえで次回(秋開催予定)の市民ワークショップに持ち越す。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 分析結果を添付します。 | |
| 4-3. 今後の計画 | 最も当てはまるもののリストより選択下さい | ②次年度に予算化を図り推進する 来年度、丹波市子ども読書推進計画を含む丹波市立図書館基本計画を策定する。 |
| 4-4. 事業の最終的な目指す姿 | 図書館の機能やサービスが充実し、多くの丹波市民の暮らしを豊かにしている。 | |

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

| | |
|------|---------------------------|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 |
|------|---------------------------|

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

